

## 富山県・遼寧省友好県省締結35年のあゆみ

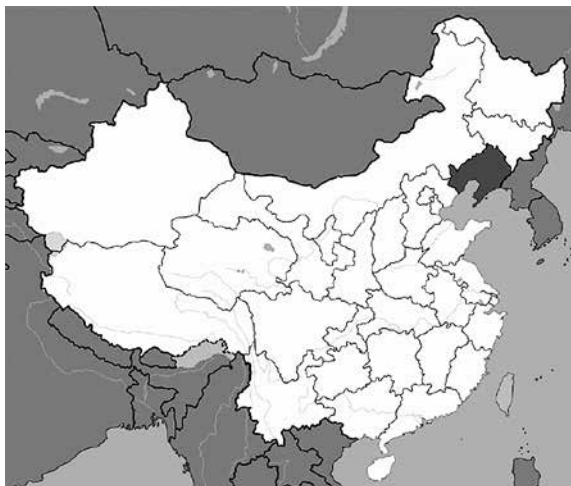
富山県大連事務所 副所長 中山 聖也

### 1. はじめに

富山県と遼寧省は1984年に友好県省を締結して以来良好な関係を維持し続け、2019年に35周年の節目の年を迎えた。2018年には、日中平和友好条約締結40周年を迎え、日中関係は良好さを増し、相互交流の機運が高まったタイミングであった。また、同年は日中青少年交流推進年にもあたる。日中青少年交流推進年とは、日中両国国民の相互信頼・理解を醸成する観点から、双方向の国民交流、特に若い世代等の交流を更に拡大する必要があるとの認識を両国間で共有。その上で、2019年を「日中青少年交流推進年」と銘打って、今後5年間で3万人規模の青少年交流を実施していくことで一致している。そのため、友好県省35周年事業と合わせて、将来の日中関係を担う若年層の交流も積極的に行われた。

### 2. 遼寧省の概要

遼寧省の基本的な情報をご紹介します。



〔Wikipedia〕より参照

面積	約14.8万km <sup>2</sup>
省都	瀋陽市
人口(2018年)	4,359万人(瀋陽市832万人、大連市700万人)

〔遼寧省統計局〕より参照

### 3. 友好県省締結の歴史

富山県と遼寧省の友好県省締結の歴史を振り返る。1979年5月、中国の各界代表者が、中日友好の船「明華号」で富山県を訪問し、県内各地で交流・交歓が行われたが、その一行の中に遼寧省の代表が含まれていた。また、同年7月には、富山県から第9回「青年の船」が中国を訪れ、遼寧省を中心に各地で友好親善を深めた。

その後も両県省は密接な交流を続け、1984年に当時の全樹仁(ぜんじゅじん)省長以下8名の代表団が富山県を訪問した際に友好県省が締結された。

2018年8月には、日中平和友好条約締結40周年を記念し、知事を団長とする友好代表団、経済訪問団及び観光訪問団が遼寧省を訪問した。とやま県産品セミナー・フェア、富山ファン倶楽部總會・分会、大連市での観光説明会の開催など、富山県と遼寧省の更なる交流拡大を図るための行事を行った。また、石井知事と唐一軍(とういちぐん)省長との間で、①経済・貿易交流、②観光交流、③人的及び文化交流を重点分野として、交流と協力を一層深めるための新たな覚書の調印を取り交わした。今後両県省の友好関係の強化が期待される。



覚書を締結する石井知事と唐一軍省長

## 4. 富山県と遼寧省の経済面での交流

経済交流の面でも両県省は協力関係を築いている。2019年10月現在、遼寧省に進出している富山県企業は38社46事業所になる。

遼寧省で開催される展覧会や商談会などにも富山県から多くの企業が参加している。毎年大連市で開催されている大連日本商品展覧会にも、多くの富山県企業が参加しており、2019年9月に開催された第11回目の展覧会には17社の富山県企業が参加し、自社製品のPRや中国企業との商談等を行った。

また、富山県で2年に1度開催される富山県ものづくり総合見本市にも、遼寧省から多くの企業・団体が参加している。2019年10月31日から11月2日の3日間の期間で開催された「富山県ものづくり総合見本市2019」では、海外出展者196社・団体のうち中国からは124社・団体、遼寧省からは55社・団体が参加し、遼寧省からの参加が海外出展者全体の28%を占めた。富山県企業とビジネスを拡大したいと考える遼寧省企業が多いことが出展企業・団体の割合の高さからも伺える。

## 5. 富山ファン倶楽部

富山県と遼寧省の交流促進に大きな役割を果たしているのが富山ファン倶楽部である。研修や留学などで富山県に滞在経験等のある中国人を対象として人的ネットワークを構築し、会員相互の親睦を図るとともに、富山県と中国との各分野における交流活動に協力することにより、富山県と中国との相互発展を図ることを目的に、友好県省締結20周年にあたる2004年に設立された。当事務所が事務局を担っている。2019年12月時点の会員数は401名。総会が年に1度開催されている。2019年10月に開催された第16回総会には87名（会員41名、県関係者23名、その他23名）が出席。同時期に訪中していた日中友好富山県地方議員連盟訪中団も参加した。総会では、二胡（中国伝統楽器）隊による演奏や議員連盟訪中団員によるこきりこ節など富山県の伝統芸能が披露され、会場は大いに盛り上がった。



富山ファン倶楽部総会の様子

また、2019年9月に友好県省締結35周年を記念し、「里帰りツアー」が企画された。交流のあった友人・知人や縁のある土地を訪れ、新たな富山県の魅力も発見してもらう目的で富山ファン倶楽部会員がかつて滞在した富山県を訪れる旅行ツアーである。ツアー中には富山県の風景を写真に収める写真コンテストが開催されたほか、県内各地を訪問し、懐かしい富山を満喫した参加者は、富山の魅力を改めて実感していた。

## 6. 青少年交流

「日中青少年交流推進年」である2019年には下記の青少年交流事業が行われた。

### (1) 遼寧省青少年交流事業

両県省の若い世代を中心とした友好交流の深化を図るために、友好県省35周年記念事業として大学生の青少年交流団の相互派遣を行った。

中国からの受入

来 県 者	45名（うち大学生40名）
来 県 日 程	5月29日～6月1日
受 入 大 学	富山大学、富山国際大学
内 容	県庁表敬、県内大学生との交流活動、県内視察等

日中国交回復や農地改革に尽くした故・松村謙三氏の業績を紹介する松村記念会館を訪問し、日中関係の歴史も学び、相互理解を深めた。

## 富山県・遼寧省友好県省締結35年のあゆみ

日本からの派遣

派遣者	36名（うち大学生29名）
派遣日程	9月4日～9月7日
派遣大学	遼寧師範大学、大連外国語大学
内容	遼寧省政府表敬、省内大学生との交流活動、省内視察等

遼寧師範大学、大連外国語大学の学生との交流を通して、異文化交流を図った。



遼寧省瀋陽師範大学での青少年交流活動記念撮影

### （2）青少年書画展

青少年の書画展を相互に開催し、国際親善と相互理解に寄与し、日中友好の精神を次世代につなぎわたすことを目的として相互派遣を行った。

中国からの受入

受入者	10名（うち青少年2名）
受入時期	9月13日～9月16日
内容	県民芸術文化祭2019生活文化展、青少年書画展開幕式、青少年書道交流会、県内視察等
出品	遼寧省の青少年の書画35点

日本からの派遣

受入者	12名（うち青少年5名）
受入時期	7月27日～7月31日
内容	青少年書画展2019開幕セレモニー、書道交流会等
出品	富山の青少年の書画35点

### 7. 友好県省35周年記念式典・祝賀会

陳緑平（ちん りょくへい）副省長を団長とする遼寧省友好代表団14名が2019年12月に富山県を訪れた。訪問団の来県に際し、友好県省締結35周年記念式典・祝賀会が開かれた。出席した県内首長や県議、経済関係者ら計120人が地方レベルでの交流発展を誓った。経済・貿易面での協力や青少年交流の発展に意欲を示した。

### 8. 終わりに

富山県と遼寧省の交流・協力関係は現在も広がりを続けている。上記に記載したこれまでの交流の歩みは、ほんの一部に過ぎない。友好提携以来、両県省においては、職員・留学生の相互派遣や環境・観光・スポーツなどの幅広い分野で活発な交流を行ってきた。また、県・省政府レベルばかりでなく、教育機関、医療機関、民間団体・企業の間での交流も積極的に行われている。今後も50年、100年と持続的に両県省が友好的に発展していくために、当事務所も関わっていきたいと考えている。